

子供・子育て支援総合計画策定にかかる子供の意見を聴く取組について（案）

1 こども都庁モニター

- (1) テーマ： ①学童クラブについて ②第3期子供・子育て支援総合計画について
- (2) 対象：未就学児（0～2歳・3～6歳）の保護者、小学校低学年、小学校高学年、中学生、高校生相当の6区分【各区分200名、合計1,200名】
※①は小学校低学年、小学校高学年の2区分、合計400名を対象として実施
- (3) 実施方法：こども都庁モニターとして公募し、各局の施策に関するWebアンケートを実施
- (4) 実施時期： ①6月下旬 ②8月上旬

2 子供の居場所等におけるヒアリング

- (1) テーマ
 - ・子供・子育て支援総合計画に関する質問（改訂で入れてほしいことなど）
 - ・社会的養育推進計画に関する質問 ※児童養護施設等でのヒアリングのみ
 - ・学童クラブに関する質問 ※学童クラブでのヒアリングのみ
- (2) 対象：児童館、学童クラブ、児童養護施設等の小学生～高校生相当【100～150名程度】
- (3) 実施方法：アンケート及びヒアリング
- (4) 実施時期：8月以降

3 子供向けパブリックコメント

- ・計画に関する、子供向けの分かりやすい資料を作成し、パブリックコメントを募集
- ・パブリックコメントに対する都の考え方として、回答を作成

(参考) 東京都における子供の意見を聴く取組

多様な手法による意見聴取の取組 (2024年度全体像)

➤ 子供の居場所におけるヒアリング

- ・ 様々な環境下にある子供から意見を聴くため、子供食堂や児童館など、多様な子供の居場所に足を運んでヒアリングを実施
- ・ ヒアリングのノウハウをまとめた事例集を庁内各局及び区市町村と共有

身近な居場所で
多様な子供から意見聴取

➤ SNSを活用したアンケート

- ・ 子供が普段から利用しているSNSを通じたアンケートを実施
- ・ 幅広い子供にリーチし、多くの子供から本音を引き出す

日常的に利用するツールで
幅広く意見を収集

➤ こども都庁モニター 拡

- ・ 年代別に公募した1,200名のモニターに対し、庁内各局の施策に関するWEBアンケートを実施
- ・ アンケート回数を増やし、子供の意見を各局の施策に反映させ、子供目線の取組を全庁的に推進

子供の意見を施策に取り入れる
仕組みを全庁で活用

➤ 中高生 政策決定参画プロジェクト 新

- ・ 子供が対象となる施策をテーマとして、当事者である子供が自ら議論・提案することを通じて政策形成の過程に参加し、その提案を施策に反映していく

子供の意見を着実に施策に取り入れるとともに、
子供の社会参加意識や自己肯定感を高める機会を作る

➤ 知事と議論する会

- ・ 子供の目線に立った施策を推進するため、子供が意見表明を行い、直接、知事と対話

知事と子供たちが直接対話

➤ 学校での出前授業

- ・ 都職員が小・中・高校に出向き子供政策に関する様々なテーマで授業を実施
- ・ 学校という子供にとって日常的な空間で、ストレスを感じさせず、自由な意見を引き出す

都職員が授業を行うことで
子供からの意見を直接把握

➤ 各事業におけるワークショップ等

- ・ ワorkshopやアンケート等の手法を活用し、庁内各局の多様な施策において、子供の参加や対話の機会を創出

それぞれの事業実施の場でも
子供目線でバージョンアップ

➤ 東京都こどもホームページ 拡

- ・ 子供目線に立った情報発信や双方向のコミュニケーションを実践
- ・ 新たに、「こども都庁モニター」等により聴取した子供の意見等について、子供目線に立って発信

聴取した意見等を
子供目線でわかりやすくフィードバック